



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development

地球の

未来に

Rio+20

earth2012

地球サミット 2012 Japan

公式ウェブサイト：<http://earthsummit2012.jp> Twitter：earth2012jp

参加しよう。

1992年

にリオで開かれた初の地球サミットから、間もなく20年。
依然として、5秒に一人子どもが餓死し、年に4万の生物種が失われています。
政府間の交渉が行き詰まる中、気候変動はますます猛威を振り続けます。
でも、私たちを待つのは、本当にそんな未来だけなのでしょうか？

2012年

10年ぶり3度目の地球サミットが開催されます。
全世界の首脳が一堂に会する国連会議を中心に、世界中の市民や企業が様々な動きを展開します。
私たちは、この地球の饗宴に、皆さんの参加を呼びかけます。

閉塞感を打ち破るのは、国連でも政府でもありません。
私たちが時代の感性と技術と創造力とで描く新しい未来のカタチが、人類全体に必要なのです。
変革のヒントは、私たちの中にある。一緒に、地球の未来に参加しませんか？

「地球サミット 2012 Japan」は、2012年に開催されるリオ+20地球サミットに向け、
世界と日本をつなげる非営利のネットワークです。



地球サミット 2012 Japan は、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受け、一般社団法人環境パートナーシップ会議が運営するプロジェクトです。

リオ+20に向けた政策提言

国連への提言

国連の準備プロセスへの参加と提言

NGO、研究者、シンクタンク、若手官僚などの
分析・企画力を結集した、政策アイデアの発信

いま世界では、100億人が分かち合いながら健康で充実した人生を送るため、生態系と調和した新しい経済社会の実現が求められています。

地球サミット2012Japanは、こうした考えにもとづき、国連の準備会合に参加するとともに、成果文書への政策インプットを積極的に行っています。

NGO、研究者、シンクタンク、若手官僚など、各分野の最前線で活躍する人財が集まるメリットを活かし、高度に専門的で革新的なアイデアの提供を行っています。



日本政府への提案

国内準備委員会の設置

多様なステークホルダーの対話から、
新しい日本のビジョンを発信

地球サミット2012Japanは、企業やNGOなど、様々なステークホルダーが対等な立場で参加し、世界に発信する日本のコンテンツを検討する国内準備委員会の設置を政府に提案してきました。

これを受け、2011年7月に、9つのステークホルダーが参加したリオ+20国内準備委員会が設置され、11月に国連への提言が取りまとめられました。

その根底には、「マルチステークホルダー・プロセス」という、多様なステークホルダーが参加した新しいガバナンスの考え方があります。

地球サミットについて学ぼう。 「地球サミット連続セミナー・Road to Rio+20」

地球サミット2012Japanでは、世界銀行などとともに、地球サミットに関連した様々なトピックについてのセミナーを開催しています。1月以降は、国連での成果文書交渉など、リオ本番に向けた様々な動きにフォーカスを当てていきます。

これまでのテーマ例：

- 第1回「地球サミットの20年を振り返る」、第2回「UNEPグリーンエコノミーを読む」、
- 第3回「リオ+20とポスト3.11の文明論的展開」、第4回「グリーン復興」を考える、
- 第5回「貧困削減のために、リオ+20ができること」、第6回「持続可能な開発のためのガバナンス」、
- 第7回「持続可能な開発のための日本からの提案」、
- 第8回「グリーンエコノミーの形成における金融機関の役割と責任」

主催：地球サミット2012Japan、世界銀行東京事務所、CEPA ジャパン、環境パートナーシップ会議
会場：世界銀行情報センター（PIC 東京）
ウェブ：<http://earthsummit2012.jp/roadtorio>
お問合せ：contact@earthsummit2012.jp



Japan VOICES

PROJECT

2012年。シフトを、日本から。

未曾有の困難を越え、私たちが描く未来が、世界を変えていく。

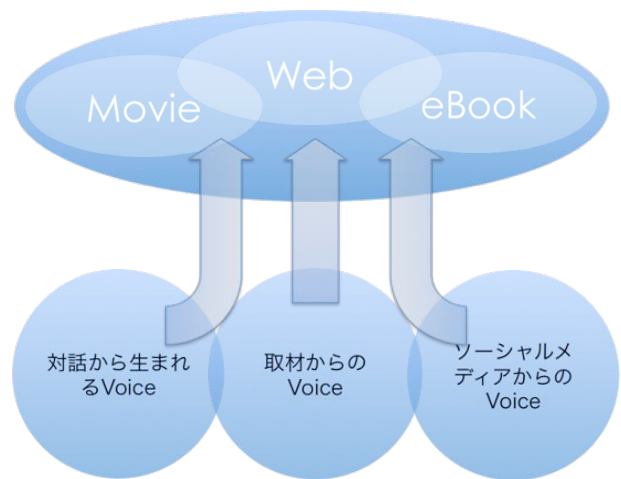
Japan VOICES は、全国の様々な人々の声（voice）の中から、私たち自らが実現していく日本の未来の姿を描き出し、地球サミットを通じて世界に届けるプロジェクトです。

3.11からはじまり、今も続く困難は、私たちの価値観を根底から揺さぶり続けています。そして、私たちがこの困難の中からどんな社会を築くのか、それを世界が見ています。

私たちは、日本がかつて通ってきた道と、気づき始めた新しい豊かさのカタチとを、世界に伝え、問いかけなければいけません。私たちの声に耳を傾ける人々と手を取り合い、100億人が分かち合って生きる、持続可能で平和な未来を築いていくために。

有名無名さまざまな人々から集められた voice は、映像・ウェブ・eBook などの形で可視化され、リオから世界に届けられます。

ウェブ : <http://japanvoices.jp>
お問合せ : contact@japanvoices.jp



Earth Dialog

地球について対話しよう。
全国各地で、アースダイアログがはじまっています

私たちはみんな地球に暮らす一員であり、誰もが自分の住む地球について何かを感じています。それをコトバにしていく場が「アースダイアログ」です。ダイアログの成果は、Japan VOICES としてリオから世界に届けられます。

すでに、映画『セヴエンの地球のなおいし方』とのタイアップなどを通じ、全国各地でさまざまな対話が始まっています。あなたの地域で、職場で、地球について話してみませんか？

ウェブ : <http://earthdialog.org>
アースダイアログについてのお問合せ : contact@earthdialog.org

呼びかけ人の皆様（順不同）



阿部 治さん

あべ おさむ
立教大学社会学部教授、同 ESD 研究センター長、日本環境教育学会長、元ブラジル市民連絡会議理事、ESD-J 顧問（前代表理事）、国際自然保護連合 CEC 委員、ほか



枝廣 淳子 さん

えだひろ じゅんこ
環境ジャーナリスト



崎田 裕子 さん

さきた ゆうこ
NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長、一般社団法人環境ビジネスウィメン代表理事、NPO 法人新宿環境活動ネット代表理事（ジャーナリスト・環境カウンセラー）



西村 六善 さん

にしむら むつよし
内閣官房参与、元国連代表部特命全権大使（地球環境問題担当）



功刀 達郎さん

くぬぎ たつお
元国連事務次長補、国際基督教大学 21 世紀 COE 客員教授、国連大学客員教授



古沢 広祐 さん

ふるさわ こうゆう
「環境・持続社会」研究センター代表理事、国学院大学教授

賛同団体様（順不同）

